**《日语写作1》课程教学大纲**

**一、教师信息**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教师姓名 | 职称 | 办公室 | 电话 | 电子信箱 |
| 曽我一正 | 教授 | 北大楼311室 | 18221165501 | kazsoga@hotmail.com |

**二、课程基本信息**

课程名称（中文）：日语写作

课程名称（英文）：Japanese Composition 2

课程类别：□通识必修课□通识选修课□专业必修课🗹专业方向课

□专业拓展课□实践性环节

课程性质\*：□学术知识性🗹方法技能性□研究探索性□实践体验性

课程代码：0430708

周学时：2 总学时：32 学分:2

先修课程：基础日语

授课对象：日语专业2年级学生

**三、课程简介**

教科書は「経典日本語第１冊」を使用して、第１学期は「紹介文」及び「感想文」を範囲とする。第１学年で習得した日本語の知識を総活用して自分の伝えたいことを的確に書くことができるようになることを目標とする。

**四、课程目标**

この授業の目標は日本語専門４級試験の１５点分の作文課題で高得点（１２点以上）を学生に取らせることである。更に６割の学生に日本語能力検定試験２級（うち１割は１級を目指す）合格をさせることを二次目標とする。

**五、教学内容与进度安排**

1.　３０節課（２節課x１５回）

2.　既に１年間で学生の日本語能力にかなり差がついているため、一人一人に対する個別の指導が重要だと思われる。このため通常２週間に一度の作文の添削を１０回に増やし個々の学生の能力に対応した指導をする。

3. 添削した作文の復習を十分にしたうえで再度書き直すことがこの授業の中で最も重要な事である（さもなければ学生の作文能力は向上しない）。更に教科書の指定された範囲の予・復習をする時間を十分に確保することが学生に求められる。

4. 授業では日本語専門４級試験と同様に３５０～４００字の作文を３０～４５分程度で書かせる。課題は教科書の内容に沿ったものとし「紹介文」が５回、「感想文」が５回である。学生の書いた作文を添削し、その間違いを分析し、授業中に教科書の例文を参考にしながら解説をする。この際に中国人学生がよく間違える例を紹介するなどの工夫をする。

5. 一学期中に１０回の作文の添削をするため、特に中間テストは実施しない。参考ではあるが１２月４日に日本語能力検定試験があり、５９名中５３名が受験予定である。（これだけの学生が受験した例は過去にはない。中間テストをしなくても学生の学習意欲は十分であると判断している。）

**六、修读要求**

授業中に学生には作文を書かせるため、授業への参加は必須である。提出された作文はすべて個々に添削をするため、その復習は不可欠である（さもなければ学生の能力向上は見込めない）ため、そのための自己学習時間の確保は学生に必ずしていただきたい。

**七、学习评价方案**

学院の統一基準により平常点３０％、期末試験７０％とする。期末試験の内容は５０％を作文表現についての問題、残りの５０％は自由作文とする。

**八、课程资源**

必要に応じて適宜紹介する。

**九、其他需要说明的事宜**

特になし。